



国際公共分野で活躍するプロフェッショナル人材を目指す

関西学院大学 大学院副専攻

国連・外交コース

Kwansei Gakuin University Graduate School
The Graduate Course in
United Nations and Foreign Affairs Studies



国際機関で働く

いま、国際公共分野で活躍する人材が求められている。

世界には、紛争、難民、貧困、環境問題、人権問題など地球規模の課題が山積みとなっており、私たち一人ひとりがこれらの問題に少なからず関わっています。国際機関の職員はこうした地球規模の課題の解決に大変重要な役割を果たしています。世界情勢が不安定かつ不透明な今日、国連や国際機関、各国の外交の果たす役割はさらに重要になると考えられています。

関西学院で学ぶ

なぜ関西学院で「国連・外交コース」なのか—。

本学は、「スクールモットー“Mastery for Service(奉仕のための練達)”を体現する世界市民の育成」というミッションのもと、これまで国連・国際機関などと深く連携しながら、実践的なグローバル人材育成の教育を行ってきました。これらの実績に基づいて、国連・国際機関などの職員養成に特化した本格的なプログラム、大学院副専攻「国連・外交コース」をスタートしました。

国連・国際機関職員とは

国連憲章に基づく国際間の平和と安全の維持、平等と民族自決の原則に基づく諸国間の友好関係の発展、国際間の経済・社会・文化・人道的問題を解決するうえでの国際協力などを目的とした機関。現在193の加盟国に100を超える機関が存在しています。



国連・国際機関職員になるには

採用条件

- 1 学位**
応募するポストと関連する修士号以上の学歴を有すること
- 2 職務経験**
応募するポストと関連する、一定期間の職務経験を有すること（一番低いレベルのポストでも2年以上の経験が求められます）
- 3 語学力**
英語または仏語で職務遂行が可能であること
※国際機関によっては必ずしも上記の限りではありません。

採用試験

- JPO派遣制度（外務省が実施。日本人のみ）
- 空席広告（各国際機関が募集）
- YPP（国連事務局が実施）

外交とは・外交官とは

互いに異なる利益・価値観を持った国々の中で、両国の異なる利益・価値観を認識し、その調整を図りつつ国益を守るのが外交官の職務です。



外交官になるには

主な外交官採用試験

- 1 国家公務員採用総合職試験**
外務省の中核となる幹部採用を目的とした、他の官庁と共通の試験。学部卒で受験可。
○第一次試験…基礎能力試験（選択式）、専門試験（選択式）
○第二次試験…専門試験（記述式）、政策論文試験、人物試験（面接）
※上記に合格後、外務省訪問による審査あり。
- 2 外務省専門職員採用試験**
外務省独自の専門職員採用試験。専門職員は専門とする語学や知識を活かして、諸外国の地域や社会、歴史、文化にも精通した外交スペシャリストとして実務を行う。学部卒で受験可。
○第一次試験…基礎能力試験、外国語、憲法、国際法、経済学、時事論文
○第二次試験…外国語会話、個別面接、集団討論

国連×関学の軌跡

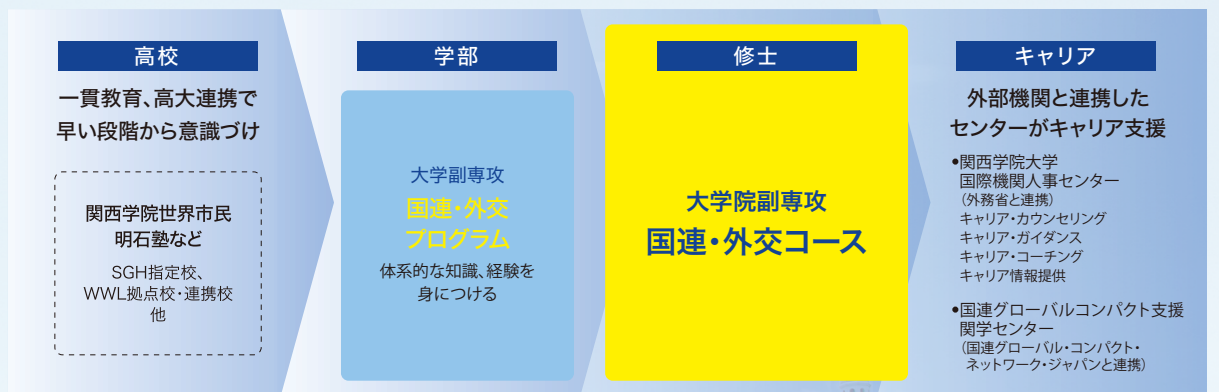


関西学院がめざす人間像



「国連・国際機関等へのゲートウェイ創設」構想 - 平成26年度 文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択事業

関西学院では、日本の国家的目標「邦人国際機関職員の拡大」に貢献すべく、高校～大学院卒業後まで充実のプログラムを用意しています。



大学院副専攻「国連・外交コース」

「世界の公共分野で活躍するグローバルリーダー」を育成する

大学院博士課程前期課程(修士)および専門職課程(専門職学位)の副専攻プログラム。*

実務経験豊かな教員による演習授業や国際機関などでのインターンシップを通し、国際公共分野で活躍する人材育成をめざします。

※ 経営戦略研究科では、経営戦略専攻国際経営コースの開講プログラム(Global Public Management Program(GPMP))として提供します。

国連・外交コースの特色

■ 研究科に所属しながら副専攻として履修

主専攻(専門)と並行して、副専攻で学べる2年間のプログラムです。

■ 授業は留学生を交え全科目英語で実施

全ての科目を英語で開講し、各国からの留学生も交えて国際的なディスカッションを展開しています。

■ 国際機関などでのインターンシップ必修

国連や国際NGO、または外務省や政府系組織でのインターンシップ(必修・2カ月程度)で、実務経験を積みます。

■ 大学院の学費のみでコース受講料は無料

米英の大学院の半分以下のコストで、海外の大学院レベルの演習授業を展開。大学院生向けの奨学金も充実しています。

■ 採用基準に特化したカリキュラム

国連の採用基準“UN Competency Framework”に基づいて体系的に編成されたカリキュラムです。

■ 演習科目を中心に23単位を修得

所属研究科での学位取得をめざすと同時に、所定の課程から23単位修得し実践的能力を養います。

■ 第一線で活躍してきた実務家教員が指導

国連・外交分野の実務経験豊かな教員による演習科目が中心。クラスは少人数制で双方向型の授業で理解をより深めます。

■ 手厚いキャリア支援

関西学院大学国際機関人事センターが、キャリア・コーチングやカウンセリングなどを通じて、入学から修了後も長期的にサポートします。

経験豊かな教員陣

国連・外交の第一線で活躍してきた実務家教員により演習科目主体で徹底指導します。



明石 康

元国連事務次長
関西学院大学
学長特別顧問

1957年日本人として初めて国連職員となる。
1979年より1997年まで国連事務次長などの主要ポストを歴任。
2016年に関西学院大学SGU招聘客員教授着任。
2021年より学長特別顧問。

*明石康学長特別顧問は、コースの授業担当や学生指導は直接行いません。



神余 隆博

元駐ドイツ大使
元国連日本政府代表部大使
関西学院大学特別任期制教授
国連・外交統括センター長



西野 桂子

元国連児童基金(UNICEF)
人事部担当官
関西学院大学総合政策学部教授
国際機関人事センター副長



村田 俊一

元国連アジア太平洋経済社会
委員会(UNESCAP)
事務局次長
関西学院大学特別任期制教授
国際機関人事センター長



久木田 純

元国連児童基金(UNICEF)
カザフスタン事務所代表
関西学院大学SGU招聘客員教授
国際機関人事センター・チーフコーディネーター



丹羽 敏之

元国連児童基金(UNICEF)事務局次長
元国連事務局(UN)及び
国連開発計画(UNDP)事務次長補
関西学院大学SGU招聘客員教授



三輪 敦子

元国連女性開発基金
(現UN Women)
アジア太平洋地域事務所
プログラム担当官
(一財)アジア・太平洋人権情報センター所長
関西学院大学SGU招聘客員教授



マッケンジー・クラグストン

元駐日カナダ大使
関西学院大学特別任期制教授

(掲載内容は2022年4月現在)

カリキュラム

国連の採用基準“UN Competency Framework”に基づいた体系的な編成。
実践的応用力と、国際的な競争力を涵養します。

カリキュラム紹介



	必修	選択必修	科目名	授業概要
基礎科目	◎		International Public Policy	国連システムを初めとした国際機関の改革や再構築に焦点を当て、国際公共分野における政策立案と実行について多角的に捉え、分析する力を養います。
	◎		Management of International Organizations	国連・国際機関のマネジメントの枠組みについて、戦略と発展、権限、ガバナンス、組織評価、透明性などの観点から包括的に理解します。
	◎		Global Sustainable Development	MDGsからSDGsへの移行、SDGs達成に向けた国連のリーダーシップによる政策の推進など、国際開発の諸課題を検証し、効果的なアプローチを考察します。
実践科目	◎		Seminar in Diplomacy, Peace and Security	過去の政治・政策トレンドや歴史の背景を学び検証することで、事例を通じて外交・安全保障や国連の活動に対する分析・理解力を深めます。
	◎		Seminar in International Human Rights and Humanitarian Principles	国際人権法や人道主義を学び、人権に関する国際条約や世界的に理解されている考え方、難民・貧困など人道的課題を抱える地域への支援について理解を深めます。
	◎		Seminar in Global Communication	国際的な職務環境で求められるコミュニケーション能力、プレゼンテーション、パブリックスピーキングを行う際のアプローチや広報戦略を立案、評価する力を養います。
	1科目選択	※	Seminar in Global Environmental Policy	SDGs、気候変動や地球温暖化などの環境問題について学び、パリ協定、気候変動枠組条約などの国際合意構築のプロセスと、合意された目標や政策履行への理解を深めます。
	1科目選択	※	Seminar in Global Diversity	国際的な多様性に関する問題を理解し、「誰一人取り残さない」SDGsの達成をめざすための問題分析、考察、解決への提案力を養います。
	◎		Career Seminar for International Organizations	国連コンピテンシーの枠組みと想定し得るキャリアパスを理解し、自己のコンピテンシー評価に基づき、継続的なキャリア構築を計画し、それを実現するための力を養います。
演習科目Ⅱ	◎		Seminar in Multilateral Negotiation	外交交渉に関するケーススタディを演習形式で学び、国連や多国間外交における交渉と議論合意形成について理解を深めることをめざします。
	1科目選択	※	Research Project in the United Nations	国際的課題に関するケーススタディと研究ベースでの授業を通じ、批判的思考に基づいてプロジェクトを企画・提言し、評価する力を養います。
	1科目選択	※	Research Project in Foreign Affairs	日本や諸外国、またEUや国連の外交問題に焦点をおいたケーススタディにより、トピックについての批判的・建設的思考を修得します。
実習科目	◎		Internship in the United Nations and Diplomatic Institutions	日本国内外の国連や国連機関、国際NGO、外交機関(大使館、領事館など)やJICAなどにおけるインターンシップへの応募・採用を経て、実践的な職務経験を積みます。一連のプロセスを通じて、将来プロフェッショナルとして通用する力を養います。



■ 履修

● 単位数 [国連・外交関連プログラム室開講科目]

副専攻コース名	必修	選択必修	合計
国連・外交	16	7	23

● 履修開始時期

本コースは、原則として博士課程前期課程または専門職学位課程の1年次から履修を開始します。標準修得期間は2年です。

● 開講曜日

原則として西宮上ヶ原キャンパスにて水曜日・土曜日に開講します。
(一部遠隔授業実施の場合あり)

■ 修了

本コース所定の単位をすべて修得した者には、研究科修了時に修了証書と併せて本コースの修了証書が授与されます。

なお、本コースを修了しない場合であっても、所属する研究科の課程を修了することは可能*です。 ※ 経営戦略研究科国際経営コースを除く。

■ 主専攻(専門分野)×副専攻(国連・外交)

主専攻研究科紹介



関西学院大学では、主専攻での専門性と副専攻での国連・外交に特化した学びを掛け合わせるにより、世界の公共分野で活躍するプロフェッショナルに必要な知識を身につけることができます。



国際機関では右記のような専門分野をバックグラウンドにもつ人材が求められます

開発・人権・人道・教育・保健・平和構築・モニタリング評価(M&E)・環境・工学・理学・農学・薬学・建築・防災・人事・財務・会計・監査・総務・調達・広報・渉外・IT・統計・法務等
出典:外務省 国際機関人事センター発行「国際機関で働こう!」

例えば・・・

主専攻

副専攻

研究科の例	学べる専門分野の例		
社会学研究科	統計・調査	コミュニケーション	
法学研究科	国際法	公共政策	人道
経済学研究科	統計	公共政策	
商学研究科	会計	監査	統計
総合政策研究科	開発	人権	環境
人間福祉研究科	ジェンダー・多様性	社会起業	
教育学研究科	教育	子どもの発達・援助	
国際学研究科	国際政治	平和構築	国際協力

×

国連・外交コース
〈科目例(和文名称)〉 ・国際機関キャリア演習 ・国連特別課題研究 ・国際組織運営論 ・外交・平和・安全保障演習 ・国連・外交インターンシップ など
国連の採用基準“UN Competency Framework”に基づいた体系的な編成。

経営戦略研究科

Global Public Management Program

※ 経営戦略研究科では、経営戦略専攻国際経営コースの開講プログラム(Global Public Management Program(GPMP))として提供します。

■ 在学生からのメッセージ



堀本 季歩さん
総合政策研究科2年
2020年3月 関西学院大学 総合政策学部 早期卒業

私は本コースが持つ質の高い双方向型コミュニケーションに特に魅力を感じます。専門性と横断的な視点を併せて考えることが強く求められる中、本コースでは少人数制の国際色豊かな授業で、外交分野や国際協力分野での豊かで幅広いご経験をお持ちの教授陣の指導の下、同級生と議論をします。このような環境は、学んだことを咀嚼し、自分のものとしてしっかり落とし込むうえで役立っています。そして、私の場合はアカデミックな視点をさらに実践でどのように活かすのかを、長期インターンシップ(国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所)で学びました。深いアカデミックな視点と実践力を併せ持つ人材として成長し、今後のキャリアに活かすことを意識しながら学んでいます。



ジャクソン・オズボーンさん
経営戦略研究科2年
2019年12月 デンバー・メトロポリタン州立大学卒業(言語学専攻)

本コースは、国連について必要な知識を修得し、SDGs・環境・開発・人権人道など幅広いトピックについて国連及び国際関係の観点に照らして考察し、こうした学びを国連機関でのインターンシップ参加へ繋げることができる、非常に素晴らしいコースです。経験豊富な教員陣は授業やインターンシップにおける一連の指導を通して、学生が自らのキャリアプランを明確にし、めざす方向へしっかりと進むための手助けをしてくれます。更に、多様性に溢れる履修生との授業でのディスカッションは国際的な視野に富んでいます。国連や国際機関で働く事を志すのであれば、このコースでの学びによって、めざすキャリアへの力強い第一歩を踏み出すことができます。

■ インターンシップ

インターンシップによる現場での生きた経験を通じて国連・国際機関などでの働き方や実務への理解を深めます。

海外・国内の国連・国際機関・国際NGOの現地事務所などへのインターンシップ派遣を行い、実際に現場の業務や人々と関わることを通じて実践経験を積みます。入学時からメンターとなるインターン指導教員を決定し、希望する派遣先や分野を元に、教員のサポートを受けながら派遣先を検討します。派遣期間は2カ月程度で、部分的な費用補助制度があります(派遣地域により金額は異なる)。

※エントリー時までに派遣に求められる水準に達しなければ、インターンシップに参加できない場合もあります。

派遣実績

UNFCCC本部(ドイツ)、UNESCAP本部(タイ)、UNDP Nepal(ネパール)、UNDP Bangkok(タイ)、UNICEF Hanoi(ベトナム)、WFP Zimbabwe(ジンバブエ)、UNESCAP Beijing(中国)、WHO神戸、UNDP駐日代表事務所、UNFPA駐日事務所、UNHCR駐日事務所、UNWTO駐日事務所、JICAタイ、JICA関西、Kopernik(国際NGO/インドネシア)、(一財)アジア太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)、(公財)ジョイセフ、(認定NPO法人)気候ネットワーク



奥平 裕士さん
経営戦略研究科2年
2020年3月 関西学院大学 国際学部 早期卒業

SNSやニュースレターを通じたアドボカシー活動、日本政府による補正予算事業をまとめたビデオの編集や記事の翻訳、国際デー(国際高齢者デーなど)に関する企画を担当しました。運営補佐として携った「#STOPデジタル暴力キャンペーン」では、国会議員や関係省庁・企業と連携し、デジタル暴力の被害とその撲滅を訴えました。その結果、新聞・テレビなどの各種メディアでも取り上げられるなど、インパクトのある成果が得られました。卒業後は本インターンの経験を糧に、国際的な視座のある国家公務員として、多様な利害関係者の意見を調整し、弱い立場に置かれた人々のために働きたいです。



インターンシップ先:
UNFPA駐日事務所

インターンシップ参加報告

■ 修了生からのメッセージ



織田 雄太郎さん
2019年3月 国際学研究所 修了
2017年3月 国際基督教大学 教養学部 卒業
(修了後の進路) 株式会社近鉄エクスプレス勤務を経て2022年3月より独立行政法人国際協力機構(JICA)入構

2019年に本コースを修了後、民間企業での経験を経て、現在は念願であった国際協力の仕事に従事しています。在籍時には各専門分野の先生方と英語でのハイレベルな授業を通して、多くの知識・経験を得る事ができますが、本コースの更なる魅力は修了後もそれぞれの修了生に沿う形で、親身なキャリアサポートを受ける事ができる点にあると感じます。私自身現状に満足せず、世界の平和に少しでも貢献すべく、これからも精進していきます。



内藤 早百合さん
2019年3月 総合政策研究科 修了
2017年3月 関西学院大学 総合政策学部 早期卒業
(修了後の進路) エジソバラ大学院修士課程修了及び京都大学大学院博士課程進学
2022年2月より外務省専門調査員として在ネパール日本大使館勤務

国際公務員や外交官は、専門性や学歴・職歴を着実に積んでいくことが求められる職業だと思っています。そのためには私は志を共にする仲間との存在と情報収集の場が大切だと感じています。本コースはこれらを与えてくれた場所であり、修了後の今も変わりません。内容の濃い授業やインターンの経験は、私の思考の土台となっていると感じますし、教授方や職員の方々から受けられる手厚いキャリアサポートは、目標に取り組む上でとても心強い存在です。

■ 充実の人的ネットワーク

関西学院大学OB・OGが在籍または国連・外交コースとの関わりのある主な機関

- 国連・国際機関 UNDESA(国連事務局経済社会局) / UNDP(国連開発計画) / UNESCAP(国連アジア太平洋経済社会委員会) / UNFPA(国連人口基金) / UNHCR(国連難民高等弁務官事務所) / UNICEF(国連児童基金) / UNISDR(国連国際防災戦略事務局) / UN Women(国連女性機関) / FAO(国連食糧農業機関) / IFAD(国際農業開発基金) / IFC(国際金融公社) / WB(世界銀行) / WHO(世界保健機関) / WFP(世界食糧計画) など
- 外交 外務省 総合職・専門職員 など ■ 政府系機関 JICA(独立行政法人国際協力機構) / JNTO(日本政府観光局) など

OB・OG message

国連職員をめざす人たちへ

私は在学時に関西学院の国際的な環境に刺激を受けたこともあり、海外を舞台に活躍したいと考えるようになりました。大学を卒業後は民間企業や世界銀行での勤務、大学院留学を経て、UNDESA(国連経済社会局)にてYPPとして勤務しています。現在の仕事は、格差、貧困、雇用などの社会問題をどう解決するか考えることで、毎日やりがいのある充実した日々を送っています。国連は、関西学院で養うことのできる国際性、そしてMastery for Serviceの精神が非常に必要とされる職場だと実感しています。私は若手職員の登用試験であるYPP試験を経て国連入りしました。是非、皆さんも本コースなどで学び、YPP試験、JPO試験などを活用して挑戦してみてください。



丸一 大輔さん
UNDESA(国連経済社会局) ニューヨーク本部
2012年 関西学院大学文学部卒業

私は在学時に参加した「国連セミナー」を通してJPO制度への挑戦を決めました。卒業後は民間への就職を経て大学院に進学し、日本国大使館や開発コンサルタント会社を経てJPO試験に合格しました。現在はUNFPAミャンマー事務所勤務しています。暴力から女性や子どもたちを保護するため、多様な関係者との連携調整やNGOによるプロジェクト実施を支援しています。国連では自身の専門性を高めることはとても大切ですが、それと同じくらい重要なのが文章を書く力やコミュニケーション力です。これらは国連の中では教えてもらえるものではないので、それらの基礎・応用力を学ぶために本コースでの学習はとても価値があると思います。ひとつずつ確実に頑張ってください!



西村 幸子さん
UNFPAミャンマー事務所
Gender/GBV Programme Analyst
2008年 関西学院大学総合政策学部卒業

■ キャリアサポート

外務省国際機関人事センターなどと連携し、修了後も長期的サポート。外務省JPO受験も支援します。

キャリア・カウンセリング

大学院副専攻「国連・外交コース」履修をお考えの方を対象として、個別のキャリアカウンセリングを実施。久木田純・SGU招聘客員教授がマンツーマンで皆さんのキャリア設計をサポートします。ご希望の方は、公式サイトより申し込みください。

公式サイト <https://www.kwansei.ac.jp/unfa/>

キャリア・コーチング

関西学院大学大学院入学～国連・外交コース修了～採用まで継続してコーチングを実施。国際機関でのインターンなど、実務経験を積む機会の紹介も行います。

キャリア・ガイダンス

国際機関や外交分野における、めざす進路を実現するためのキャリアパスなどについて、定期的な一般公開の説明会を開催しています。

キャリア情報提供

国際機関・外交分野の求人やキャリアに関する情報を随時提供しています。



■ コース関連イベント

国際機関で活躍する方々の講演会をはじめ、さまざまなイベントを開催しています。



- ・国際原子力機関(IAEA)事務局長 天野之弥氏講演会
- ・外務省国際機関人事センター合同開催キャリアセミナー UNICEF/UNDP/UNFCCC
- ・世界銀行・アジア開発銀行合同開催キャリアセミナー
- ・外務省中東アフリカ局アフリカ部・国際協力局参事官 紀谷昌彦氏講演会
- ・国連機関合同アウトリーチ・ミッション訪日 国連機関合同就職説明会
- ・UN Women日本事務所所長 石川雅恵氏SDGs特別講演会

- ・化学兵器禁止機関(OPCW)フェルナンド・アリアス事務局長講演会
- ・International Pre-G20 Summit Joint Workshop
- ・国連軍縮局上級政務官 河野勉氏による「国連・外交フォーラム」特別講演会
- ・UNHCR × 関学 特別セミナー「難民問題を考える」
- ・国連・外交コース オープンセミナー(年数回開催)
講師:イナ・レーベル駐日ドイツ大使、マルティン・エバーツ大阪・神戸ドイツ総領事等

開催実績例

募集

- ・ 研究科の入試合格とコースの履修許可の両方が必要です。
- ・ プロセスは同時審査型と事前審査型と事後審査型の3パターン。
- ・ 研究科によっては指導を希望する教員との事前面談が必須です。

コース申請資格

- 1 本学の大学院(博士課程前期課程、専門職学位課程)への出願資格を有する者。
- 2 TOEFL iBT® TEST 85、TOEFL ITP® TEST 570、IELTS 6.0、TOEIC® TEST 780相当以上の英語力を有する者。

※ TOEIC及びTOEFLはエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けまたはその了承を得たものではありません。

募集・選考プロセス

時期			A.出願時・同時審査型 (主に経営戦略研究科GPMプログラム)	B.出願前・事前審査型	C.主専攻合格後・事後審査型
一次募集	二次募集	三次募集			
5月下旬			入試募集要項公開		
7月	11月~1月			副専攻コース 出願・審査・合格	
8月~9月	1月~2月	8月~2月	研究科入試 出願・審査・合格*	研究科入試 出願・審査・合格	研究科入試 出願・審査・合格
		3月			副専攻コース 出願・審査・合格

*経営戦略研究科GPMプログラムは研究科入試内でコース審査も同時に実施します。

募集概要

募集人数	15名~20名	選考形態	書類選考および英語による面接
------	---------	------	----------------

本コースの履修を認める研究科

神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済学研究科、商学研究科、理工学研究科、総合政策研究科、言語コミュニケーション文化研究科、人間福祉研究科、教育学研究科、国際学研究科、経営戦略研究科*

※ 経営戦略研究科では、経営戦略専攻国際経営コースの開講プログラム(Global Public Management Program(GPMP))として提供します。

学費・奨学金

- ・ 本コースの受講料は不要。大学院の学費のみで履修できます。
- ・ 充実した奨学金制度により、多くの大学院生が支給型奨学金を受給しています。
- ・ 学費・奨学金の詳細は「関西学院大学院案内」の冊子、及び本学ホームページをご参照ください。

学費概算(研究科により異なる)

	文系	理系	経営戦略研究科(IBA)
入学金(初年度のみ)	200,000円	200,000円	200,000円
学費(年間)	690,000円~920,000円	1,010,000円	1,665,000円

(2022年度参考)

奨学金

	名称	金額	採用期間	採用期間	備考
給付型	ベーツ特別支給奨学金	学費相当額	入試の合格発表時に研究科より通知	入学年度1年限り	条件を満たせば次年度以降第1種支給に採用
	ベーツ第1種支給奨学金	学費1/2相当額	入学後に出願	1年間	毎年出願可能

※ その他、日本学生支援機構の貸与奨学金あり。 ※ 研究奨励制度として「教学補佐(TA)」制度あり。

※ 本リーフレットに掲載されている情報は、2022年4月時点のものです。 ※ 学生及び卒業生に関する本文の内容は取材当時のものです。

関西学院大学 国連・外交統括センター

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 Tel : 0798-54-6436 Fax : 0798-54-6497

<https://www.kwansei.ac.jp/unfa/>

または

関学 国連・外交コース 検索



関西学院大学大学院
KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL



関西学院大学は、SDGsに賛同しています。